



今月のみさとし/自ら心に鞭を打ってなすべきことは黙ってせよ。(ご聖訓 第五巻 63 頁)

第 136 回 米国解脱教会秋季大祭

私たちの人生を有意義なものにするために



不動明王前にて柴燈護摩の儀で祈りを捧げる



解脱霊廟祭祀の儀では新たに 10 霊位が祭祀された



折り紙競争を楽しむ子供たち

第 136 回米国解脱教会の秋季大祭が 9 月 3 日、米国サクラメント御霊地にて開催された。

五智聖堂での第 1 部式典では、拝礼行事、萬霊大供養の後、岡野英夫米国総長(顧問)より「私たちが人生を有意義に過ごすには」をテーマに記念講演があり、「様々な社会不安が増大している現代こそ、金剛さまの遺されたみ教えを学び、悩み苦しむ人々を救うこと」と述べた。

また子供たちに向けたイベントでは、

「折り紙競争」を開催。日本文化である折り紙をいかに早く作れるかを楽しみながら競った。「解脱霊廟祭祀の儀」では、遺族による焼香と天茶供養が厳修され、続いて行われた「柴燈護摩の儀」では、会員それぞれが家内安全や世界平和を祈願した護摩木を火に投じた。

大祭当日は 40℃ の猛暑が予想される中、五智聖堂の空調機が故障というハプニングがあり、急遽、参加者の体調を気遣い、「軽装可」と参加者へ通知。さらに

会場内には多くの大型扇風機が設置されるといった対応が施された。また猛暑との予報が曇天となり、さらに柴燈護摩の時には、突然の霧雨が降るというお恵みに参加者一同、驚きと喜びの声が上がる中、秋季大祭が締めくくられた。

本部研修・ジュニア with ユースコース

仲間とともに存分に御霊地にひたる

8 月 18 日～ 20 日、御霊地とその周辺の施設において、小中学生及びグループリーダーとしてのユース(青年コース参加経験者等)を対象とした、ジュニア with ユースコースが開催された。

御霊地・お山でのレクリエーションや、クイズを交えての御霊地参拝を通じ、楽しみながら積極的に御霊地に親しむ姿が見受けられた。また、キャンプではテント張りや夕食のカレー作り等を行う中で仲間と協力することの大切さを学んだ。

食事では、バーベキューをはじめ本格窯で焼いたピザ、また、そば打ち体験にて自分たちで打ったそばを堪能し、多くの笑顔が見られた。さらにきれいな都幾川での水遊びや、夜のキャンプファイヤー



で楽しみ、それらは自然の迫力と大きな力を感じる経験となった。

御霊地・お山に親しみ、自然に触れ、仲間と協力して過ごした 2 泊 3 日の楽しい体験の中から、多くの学びを感じ取った様子の参加者は一回りの成長を遂げ、たくましい姿となり、仲間との再会を約束して、充実した研修は終了した。

黒姫出張所

黒姫工場で火入式



8 月 20 日、長野県信濃町の黒姫出張所において天茶法薬加持の儀及び工場火入式が執り行われた。当日は渡辺孝彦理事長をはじめ服部天茶耕作者組合長らが参列し、午前 11 時より黒姫工場 2 階にて天茶法薬加持の儀、続いて正午より第 1 作業棟にて火入の儀、天茶の撒き供養が行われた。その後の直会では、渡辺理事長から日頃の労いの挨拶があった。

本部研修・仲介者養成コース

支部での活躍を志し

9 月 2 日～3 日、御霊地・解脱研修センターにおいて、本年 3 回目の仲介者養成コースが開催され、54 名が参加した。

研修は最初に、西村晴雄教務局長よりみ教えの基本について学んだ後、修法シートをもとに、大賀光夫修法部長より「御五法修業の目的と心得」、安達武寿布教本部長より「修業者の心得」について

学び、続いて大賀修法部長が担当の「生霊関係・その他の関係」、岩田始修法部主任が担当の「金生無縁」と、2 グループに分かれて講義があり、それぞれ霊動の動き等の詳しい解説があった。

講義の時間でしっかり仲介者の基本を学んだ後、班毎に実修が進められた。両日、十分に設けられた実修時間において、真剣な学びが重ねられた。研修生は休憩や夕食後の自由時間においても意見交換を行い、熱心に学ぶ姿があった。

最後に木村正則常任理事の「支部に



実修では、班ごとに研鑽を積んだ

帰ってからが本番。ここで得たものを活かして行ってほしい」との激励の講義で終了。本年最後の仲介者研修にふさわしい充実した研修が、午後 3 時、閉講した。

愛知教区・豊橋陸軍墓地で供養会

平和への感謝捧げ

8 月 20 日、愛知教区では豊橋陸軍墓地にて「第 47 回豊橋陸軍墓地祭祀の霊並びに豊川海軍工廠関係犠牲者の合同供養会」が会員及び多くの関係者ら 107 名参列の下、盛大に行われた。本部より西村晴雄指導員が出講、来賓には、遺族などでつくる「八七会」の方々、地元選出の議員らの参加があった。

全員で国歌を斉唱する中、国旗が掲揚された後、青年部員による献納の儀、献



花の儀、女性部による献茶、献天茶の儀が行われ、政年均教区長が諷誦の文を奏上した。続いて、参加者全員で般若心経を唱える中、来賓による焼香と会員より各墓へ天茶の供養が捧げられた=写真左。

供養後、政年教区長、八七会代表、西村指導員が挨拶を述べ、供養会は終了。



その後、戸山流居合道東海道場の剣士による奉納演武があった。午後はテントが張られ「教区子ども大会」を開催。女性部がかき氷を販売する中、ラジオ体操を皮切りに楽しいゲーム=写真右=で子供たちの歓声と大人たちの笑顔が溢れ、平和の大切さを実感した一時となった。

新潟教区・伊勢参り

法縁者と共に



新潟教区では「青少年の育成と親子孫のつながりとお誘い」を目的に 7 月 29 日・30 日、「伊勢参宮の旅」と題し、本部出講の福澤文雄教区担当、法縁者も含めて 1 歳児から 80 歳と幅広い世代の 43 名が伊勢神宮を参拝した。

29 日午後 3 時、外宮の正宮を参拝後、別宮の風宮と多賀宮を参拝。続いて、式年遷宮の詳細が紹介されている「せんぐう館」にて歴史の奥深さを噛みしめた。

30 日は、まず二見興玉神社を参拝した後、内宮を参拝。続いて、別宮の荒祭宮、風日祈宮、所管社である子安神社、大山祇神社をそれぞれ参拝した。

今回、両正宮にて御垣内参拝を行い、神域での参拝に感激も一入だった。

北海道々南教区・こども大会

幅広い年齢層の交流



北海道南教区は、8 月 11 日「お世話になる方に感謝して素直にありがとうを言おう」をテーマにこども大会を開催。6 歳～90 歳まで合計 35 名が集った。

10 時に札幌道場に集合、下間有己君(8 歳)の先達による拝礼行事で始まり、開会挨拶、子供たち 11 名がお浄めをした後、バスで千歳水族館へ向かった。バス内では和やかな会話やお弁当の時間を楽しみ、水族館到着後は、珍しい魚の形や泳ぎに興味をそそられながら楽しく観覧し、鮭の皮でしおり作りを体験したり、道の駅で野菜を購入したりと、充実した一時を過ごした。最後は、札幌道場に戻って終礼行事、先祖供養で終了。当日の感想が道場に貼り出される予定となっている。

東京第 2 教区・教区大会

天茶供養の尊さを再認識



8 月 20 日、東京第 2 教区の教区大会が本部道場地下ホールにて開催され、親子孫 108 名の参加者で賑わった。

午前 10 時開会。今回は「天茶供養」をテーマに、まず青年部が供養札に関して調べた内容を劇スタイルで発表、さらに日本橋中央支部の小野瀬恵さんが家族関係を修復する学びの中で天茶供養の功徳の偉大さを実感した体験を述べた。出講の木崎成博指導員の講義では、「供養札は自分が数多の先祖に生かされている象徴。感謝を込めて供養する」との基本に始まり、天茶供養の有り難さを深く学んだ。鼓笛隊演奏やクイズで盛り上がり、最後は、本日の学びを胸に全員で般若心経三巻の特別大供養を真心から捧げた。

群馬川原湯支部 新道場落慶・創立 70 周年記念感謝会

道場落慶とともに節目を祝う

群馬川原湯支部では 8 月 11 日、新道場落慶・創立 70 周年記念感謝会を真新しい新道場御神前にて開催。樋田省三支部長の親族として長老さま・貞子さまご夫妻が出席される中、本部より渡辺孝彦理事長が出講、来賓に福澤文雄教区担当、村上美津枝教区長、教区内各支部の代表者、更に施工業者の豊田建築(株)・豊田

和男社長が列席し支部会員と共に盛大に祝した。

当支部は、昭和 25 年 7 月に樋田亮平支部長が設立し、平成 2 年 5 月に樋田勝彦氏が 2 代目を継承。同 11 年 10 月に樋田省三氏が 3 代目を継承し現在に至っている。

開式に先立ち、樋田支部長の先達で「支部開設以来先亡者」へ感謝の供養を捧げた。



記念感謝会は、豊田社長へ感謝状と記念品が贈られた後、樋田支部長が支部長と会員が思いを一つにする大切さを学んだ体験と抱負を述べた。

続いて、親支部の群馬横壁支部・金子宏支部長、子支部の群馬藤岡支部・中栄勝祐支

部長、群馬草津支部・宮崎志志支部長が祝辞を述べ、渡辺理事長が記念講話を行った。

第 2 部・祝賀会では、まず長老さまが親族として激励を述べられた後、福澤教区担当が祝辞、村上教区長の発声で乾杯し、祝いの宴となった。

東京第 1・第 6 教区合同・夏の三聖地巡拝

新たなる誓いを胸に

8 月 25 日～ 27 日、東京第 6 教区と第 1 教区は合同で、『夏の三聖地巡拝』を行った。今回で 13 回目を迎える東京第 6 教区と、第 1 教区が教区大会として開催。両教区の親子孫総勢 270 名が参加してバス 7 台の巡拝団となった。

まず外宮を参拝後、内宮参拝前にひと雨降られたことを神宮司庁広報室・西村様より、「輝きの雨」に迎えられとご挨拶を頂き、清々しい気持ちで参拝した。また榎原神宮参拝では久保田昌孝宮司よりご挨拶を賜り、神武天皇御陵参拝



後に記念撮影をした＝写真。御寺泉涌寺では、上村貞郎長老猊下よりご挨拶を賜った後、特別にご配慮を賜り開山堂と海会堂を参拝した。金剛宝塔

前では、金剛さまへ巡拝完遂の報告と新たな誓いを胸に、両教区鼓笛隊演奏による青年錬成歌を合唱し、自分たちの目指すべき理想を再確認した。

東京第 3 教区・御霊地参拝

お山へ GO! 教区が一丸となって

東京第 3 教区は 8 月 20 日、「お山へ GO!」と題して教区各支部合同の御霊地参拝を行い、103 名が参加した。

午前 10 時に太陽精神碑前に集合、寺嶋豊教区長挨拶の

後、3 班に分かれて各所を参拝、スタッフが由緒を説明し、御霊地の尊さを再確認した。

昼食後は解脱金剛宝物館・記念館拝観、ウォークラリー、お百度、足もみの 4 つのコ



スに分かれ、各人が思い思いのプログラムに参加した。最後の懇親会ではじゃんけ

ん大会で沸き、親睦を深め合い、一丸となってみ教えに精進することを誓い合った。

各地で修法の学び深める

静岡教区(東・西地区)

静岡教区では、西地区が 8 月 26 日に静岡袋井支部を会場に、東地区が 27 日に三島二日町支部を会場に＝写真、「霊魂と自分たちとのつながりを知る。自分たちが霊魂の心を感じ取り、今につなげてゆくこと」を目的に修法研修を開催した。

研修の内容では、御修業の基本の再確認と、更なる仲介



の向上や修業者への一歩踏み込んだ指導法などを盛り込んだ実修と講義となった。

参加者は、仲介者としての資質向上を図るとともに会員として実践行を重ねる大切さを学んだ。

京都教区

京都教区では 8 月 27 日、関西道場にて修法研修を開催し、本部より岩田始指導員が出講、教区役員、支部長、支部長夫人ら 16 名が研鑽した。

研修ではまず、拝礼行事、開会挨拶に続いて、岩田指導員が初期の霊動などについて修法シートを用いて詳しく講話。続いてお浄めの後、グループに分かれて実修を行った。



実修では、基本を確認しながら個々に学んでいった。

また、実修後の質疑応答において、霊動や仲介、御修業の内容などについての疑問を岩田指導員の回答により、参加者は更に学びを深めた。

群馬教区・家族スクール

金剛さまの足跡をたどる!

群馬教区は、解脱誌掲載の「郷里を導く活動」を契機に家族スクールを 8 月 27 日に開催し、「金剛さまの足跡をたどると共に家族のふれあいの一日を過ごす」を目的に 116 名が参加した。

まず一行は午前中、やんば資料館・ハツ場ダムを見学。昼食後は、鎌原観音堂を参拝し、孀恋萬霊魂祭塔では全員が心ひ



とつに天茶供養と持参した天茶で撒き供養を厳修 = 写真左。

最後は金剛さまの足跡である長野原町応桑で、トウモロコシとキャベツ狩りを



楽しみ = 写真右、家族スクールは終了となった。参加者からは、先人たちの労苦やみ教えの学びに対する情熱を身近に感じることができたとの声が聞かれた。

四国西教区・健康指導研修

ビューティ&ヘルスワークショップ

8 月 27 日、四国西教区では次世代の育成を目的とした健康指導研修「ビューティ&ヘルスワークショップ」を愛媛四国中央支部にて開催。

教区スローガン「次世代につなごう! 幸せの輪」との呼びかけに 33 名が集い、青年部員や子供たちが司会や拝礼行事、閉会挨拶などの役目をそれぞれ担当した。

解脱三分間体操で体をほぐし、飯尾美喜子副担任、重森政義教区長の開会挨拶の後、プログラム作成時から協力した出講の西脇武利指導員より「茶話会と断捨離」の講話があり、続けて全員が沖ヨガ



にチャレンジした。

昼食は女性部役員手作りの雑穀米野菜カレーとサラダを頂いた後、午後は紙芝居「いのちをいただく」に涙し、「天皇陛下のみこころ」DVD を視聴。最後に足もみで、親子、親族の心の交流を体験した。

これまでにない試みの、盛り沢山の内容の研修となり、新鮮な感動を胸に笑顔で散会となった。

埼玉教区・こども会

市民に好評! 工作教室



8 月 20 日、埼玉教区は北本宿支部会員の斉藤材木店の協力により、御霊地お山にて「第 5 回夏休み親子孫工作教室」を開催、会員及び北本市民総勢約 300 名が参加した。これは毎年好評の行事で最近

は応募が多く参加は抽選となっている。今回は花台とカードスタンドを工作、釘を打つ音や世代を超えた楽しげな声がお山に響いていた。また教区こども担当者がふるまうかき氷や天茶、そして昼食は奉仕の方々が作ったカレーライスを頂いた。午後は親子で参加するゲームやビンゴ大会で盛り上がり、充実した工作教室は午後 3 時に終了した。

北関東ブロック・みどり祭り 2017

親子孫がお山でゆったりと

9 月 3 日、御霊地では毎年恒例のみどり祭りが開催され、秋の気配近づく爽やかな晴天の中、沢山の人が賑わった。

これは、北本市民にフリーマーケットの場を提供し、心から楽しんでいただこうと北関東ブロック青年部が様々な模擬店を開き、その収益の一部を「北本市緑と花のまちづくり基金」へ寄付するもの。

地元の方々に御霊地に親しんでいただくと共に日頃の感謝をこめて奉仕活動を



地元のダンスチームによる演舞

行った。今回は新たにうどんを提供。子供が遊べるコーナーも充実したことで食事を楽しみながら子供達が遊び、寛いだ雰囲気の中、木漏れ日射す森でゆったりとした時を過ごす親子孫の姿がみられた。

特別書籍案内



新刊『富士に祈る』

城崎 陽子 著 ふくく出版刊 会員特別価格 1,500 円

御霊地の「富士浅間両龍王神」その参拝意義が明らかに!

金剛さまの御生家、岡野御本家に伝わる富士信仰が、解脱会の信仰と活動にどう影響したか、金剛さまの御生涯を識者が紐解く。篤い信仰の一書。

秋季大祭にて販売します!

書道を始めませんか!



解脱書道会の会報「大雁」第 153 号が発行されました。あなたも書道を始めませんか。まずは封筒に「会報希望」と朱書きし、82 円切

手 2 枚を同封して、「大雁」を下記へ請求してください。

〒160-0007 東京都新宿区荒木町 4 解脱書道会事務局